

鏡野町大納涼祭

8月5日(土)、奥津湖畔広場に、鏡野町大納涼祭が開催されました。今回は令和元年以来、実に4年ぶりの開催で、多くの屋台が並び、提灯作りなどの体験ブースが設置されました。

日中は、奥津湖みずのフェスティバルが同時開催され、カヤックやサップ体験など、時間内は次々と参加者が訪れ多くの人の楽しむ姿が見られました。最初は漕ぎ方がわからず、岸にぶつかってしまう方もいましたが、段々とオールに慣れると、スムーズに岸から離れ、ゆったりとした時間を過ごしていました。

ステージではオープニングイベントのほか、ソーラン鏡野の演目とビンゴ大会が催され、祭りのフィナーレには花火が打ち上げられました。

今年の花火は、昨年内閣総理大臣賞を受賞した株式会社マルゴにより「あなたの花を咲かせましょう」をテーマに、5,080発が打ち上げられ、中には特産のひらめや、町の花のリンドウを模した鏡野町オリジナル花火もあり、町内外から過去最多の約45,000人の人々が奥津湖畔に訪れ、大空に咲く花火を眺めていました。



ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

8月が終わりました。この夏は久しぶりに遠くへ出かけたという方も多かったのではないのでしょうか？まだまだ残暑は厳しいと思います。くれぐれも熱中症にはお気を付けてください。

今回は来月開催する展覧会のお知らせです。

現在開催中の「ひかりのかたち展 前期」が10月2日(月)で終わり、10月4日(水)からは浅井千里さん、中野由紀子さんによる女性ガラス作家二人展を開催します。

お二人は倉敷芸術科学大学ガラスコースの同期卒業生で、浅井さんは静岡県浜松市、中野さんは岡山県総社市でそれぞれ工房、アトリエを構えて制作活動をされています。

浅井さんには色ガラス棒を使う吹きガラス技法「ケーワーク」で制作した作品を出展していただきます。中野さんは吹きガラスを中心に様々な技法を使われるのですが、今回は吹きガラスで作ったものに絵付けを施した作品を中心に展覧していただく予定です。

二人がそれぞれ使う色味の違いや、作品フォルムの美しさに注目してご覧ください。

ウランガラス収蔵作品も制作を進めていただいております、会期初日に展示発表します。どんな作品に仕上がるのか今からとても楽しみです。



浅井さん作品



中野さん作品

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888